

神戸市感染症発生動向調査週報 … 第35週 (令和元年8月26日～令和元年9月1日)

2019/09/05作成 神戸市感染症情報センター

インフルエンザ (設置定点数:48/報告定点数:48 … 東灘区: 6 灘区: 3 中央区: 3 兵庫区: 3 北区: 8 長田区: 3 須磨区: 6 垂水区: 8 西区: 8)

疾病名称	前週比	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6カ月	～12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳以上
インフルエンザ	↑	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

小児科 (設置定点数:31/報告定点数:31 … 東灘区: 4 灘区: 2 中央区: 2 兵庫区: 2 北区: 5 長田区: 2 須磨区: 4 垂水区: 5 西区: 5)

疾病名称	前週比	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6カ月	～12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	↑	19	1	6	0	7	1	6	16	11	67	6	8	28	19	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	↑	4	1	1	0	2	0	0	1	4	13	0	0	1	3	1	1	3	2	0	2	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	2	0	0	0	6	0	5	1	8	22	0	0	1	0	1	3	1	4	3	2	2	4	0	
感染性胃腸炎	↑	3	4	3	5	11	4	16	34	18	98	3	7	18	9	11	5	8	6	6	7	1	8	4	
水痘	↓	2	0	1	0	1	0	0	0	2	6	0	0	1	0	0	2	0	0	1	1	1	0	0	
手足口病	↑	18	2	2	5	5	6	25	14	7	84	0	7	18	19	15	10	5	0	2	2	0	4	0	
伝染性紅斑	↑	3	3	1	0	1	0	7	11	3	29	0	0	1	3	2	3	10	3	3	1	1	2	0	
突発性発しん	↓	2	0	0	0	1	2	1	1	2	9	0	3	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	↑	5	0	1	0	3	0	2	6	1	18	0	4	1	4	2	3	2	0	1	0	0	1	0	
流行性耳下腺炎	→	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	

<基幹定点からの報告>
なし

<神戸市保健所からのお知らせ>
4月1日から市内の感染症に関する情報をまとめたポータルサイトを運用しています。
インターネットの検索エンジンで「神戸市感染症統合情報システム」と検索いただくか、下記のURLにアクセスしてご覧下さい。
URL: <https://kobecity-kmss.jp>

眼科 (設置定点数:10/報告定点数:10 … 東灘区: 1 灘区: 1 中央区: 1 兵庫区: 1 北区: 1 長田区: 1 須磨区: 1 垂水区: 1 西区: 2)

疾病名称	前週比	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6カ月	～12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳以上
急性出血性結膜炎	→	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	↑	2	0	0	3	0	2	1	1	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	5	0	0	0	1

インフルエンザ定点医療機関から報告された迅速キット陽性情報(※A型およびB型とは、重感染、混合感染患者の数)

A型	B型	A型およびB型 ※
0	1	0

※前週比とは定点あたりの報告数を比較し、今週の定点あたりの報告数の増減をあらわしたものです。

RSウイルス感染症の患者数が増えています。例年、冬に流行のピークがありましたが、流行時期に変動があり、直近の3年間は8月下旬から9月上旬にピークが見られました。本疾患は、2～8日の潜伏期の後、上気道症状(鼻汁、咳嗽など)を発症し、乳児や高齢者では、まれに重症化することがあります。発症後は、1週間～10日間症状が続く、この期間に気道分泌物から接触・飛沫感染します。症状が軽快した後も数週間便中にウイルスが排出されます。また、成人が感染した場合、かぜのような軽い症状のことが多いため、感染者であると気付かずに感染を広げてしまうことがあります。咳等の呼吸器症状がある場合は、マスクをして手洗い、うがいを励行し、予防や感染拡大防止に努めましょう。

<定点医療機関からの報告>

東灘区○アデノウイルス感染症2例: 0歳11か月 女
中央区○アデノウイルス感染症2例: 5歳 男、8歳 男
北 区○アデノウイルス感染症1例: 1歳 男
垂水区○带状疱疹1例: 10歳 男

○ノロウイルス感染症1例: 2歳 女
○細菌性腸炎(カンピロバクター) 1例: 12歳 女
○マイコプラズマ感染症5例: 1歳 男、4歳 女、5歳 男、6歳 男、7歳 女

全数報告 報告明細(2019-08-26~2019-09-01)

No	性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病名	病型	診断方法(検査方法)	症状	推定感染原因	備考
1	男	10	2019/8/19	2019/8/22	2019/8/27	腸管出血性大腸菌感染症	O111 VT1	・分離・同定による病原体の検出	腹痛	不明	-
2	男	81	-	2019/8/22	2019/8/27	腸チフス	無症状病原体保有者	・分離・同定による病原体の検出	なし	不明	ひ孫が腸チフス発症
3	女	79	-	2019/8/22	2019/8/27	腸チフス	無症状病原体保有者	・分離・同定による病原体の検出	なし	不明	ひ孫が腸チフス発症
4	男	60	2019/7/27	2019/8/15	2019/8/26	A型肝炎	-	・血清IgM抗体の検出	全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸	不明	海外に駐在。 (カンボジア) 一時帰国中に発症
5	男	35	2019/8/19	2019/8/23	2019/8/23	マラリア	熱帯熱	・血液検体の鏡検による病原体の検出	発熱、悪寒、脾腫	蚊からの感染	海外渡航歴あり (タンザニア)
6	男	81	2019/8/15	2019/8/18	2019/8/27	レジオネラ症	肺炎型	・尿中の病原体抗原の検出(LAMP法)	腹痛、肺炎	不明	-
7	男	79	2019/8/26	2019/8/29	2019/8/29	レジオネラ症	肺炎型	・尿中の病原体抗原の検出(イムノクロマト法)	発熱、咳嗽、肺炎	不明	-
8	女	20	不明	2019/8/23	2019/8/30	梅毒	早期顕症梅毒 I 期	・抗体検査による血清抗体の検出	鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)	異性間性的接触	性風俗産業の従事歴あり
	男	5	2019/8/1	2019/8/20	2019/8/23	百日咳	-	・検体からの病原体遺伝子の検出(LAMP法)	夜間の咳き込み	不明	ワクチン接種歴あり (4回)
9	男	10	2019/7/30	2019/8/20	2019/8/26	百日咳	-	・検体からの病原体遺伝子の検出(LAMP法) ・単一血清で抗体価の高値	持続する咳、夜間の咳き込み、嘔吐	不明	ワクチン接種歴なし
10	女	7	2019/7/31	2019/8/2	2019/8/26	百日咳	-	・単一血清で抗体価の高値	夜間の咳き込み、スタックカート、嘔吐	不明	ワクチン接種歴不明
11	男	11	2019/8/20	2019/8/23	2019/8/30	百日咳	-	・検体からの病原体遺伝子の検出(LAMP法)	持続する咳、夜間の咳き込み	不明	ワクチン接種歴あり (4回)

百日咳の届出に関しては、国立感染症研究所の「感染症法に基づく医師届出ガイドライン(初版)」に掲載されている基準に基づいて受理をしています。医療機関において単一血清で抗体価を測定された際には、届出基準に合致しているかの確認をお願いいたします。

[リンク先: 感染症法に基づく医師届出ガイドライン\(初版\)](#)

第35週の結核届出患者数は7人(うち潜在性結核感染症0人)です。

病原体検出状況 - 集計データ(病原体分離・検出情報)・・・ 第35週 (令和元年8月26日～令和元年9月1日)

病原体	検体	届出区	性別	年齢	検体採取日	発熱温度	診断名	備考
コクサッキーウイルスA16型	咽頭ぬぐい液	西区	男	6歳 2か月	2019/08/19	発熱なし	手足口病	-
エコーウイルス30型	咽頭ぬぐい液	東灘区	男	6歳	2019/08/20	38.6℃	ヘルパンギーナ	-
RSウイルス	鼻腔ぬぐい液	須磨区	男	1歳 3か月	2019/08/19	39℃	RSウイルス感染症	-